

# SCHULZ フォント使用ガイドライン

シュルツ フォントは1960年代から1979年までのコミックに使われたシュルツ氏の手書き文字をベースにしたフォントです。

テキストフォント (Regular と Heavy) は、ヴィンテージのアートワークに使用できます。

象形フォント (Ornaments と Sounds) は、クラシックとヴィンテージのどちらでも使用できます。

※1980年以降のクラシックのアートワークには Schulz Classic Font をご使用ください。

## Schulz

### Regular

対象ライセンス：ヴィンテージ

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 1234567890

### Heavy

※単語を強調するときのみにご使用ください。対象ライセンス：ヴィンテージ

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 1234567890

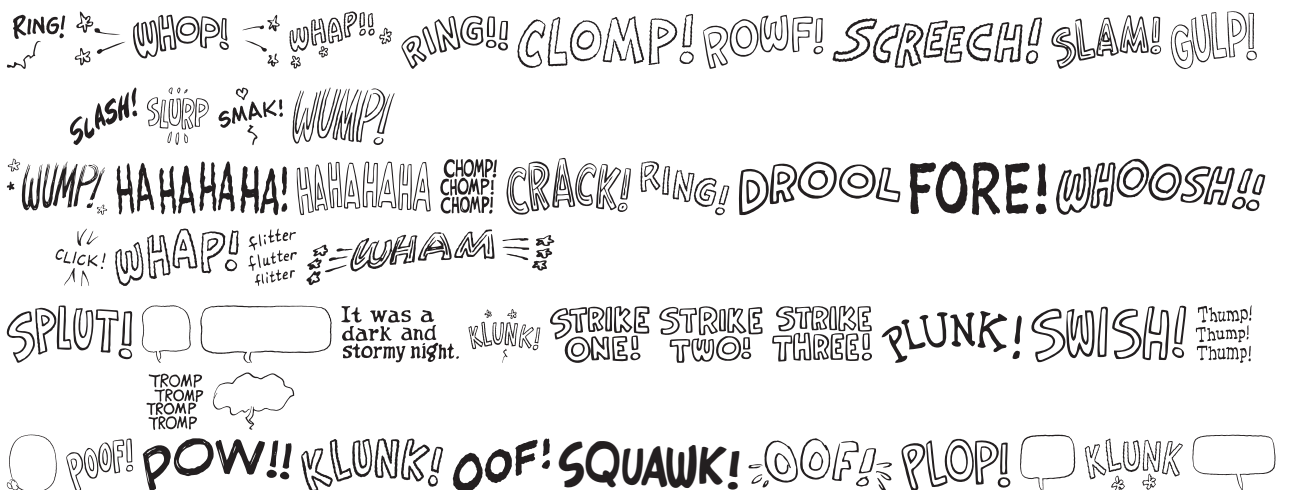
### Ornaments

対象ライセンス：クラシック・ヴィンテージ



### Sounds

対象ライセンス：クラシック・ヴィンテージ



# SCHULZ フォント使用ガイドライン

## ● SCHULZ フォント使用上の注意 ●

### 1 正確に表現してください。

シュルツフォントをデザインに使用する際には、可能な限りコミックを参照して、シュルツ氏の手書き文字を正確に表現するとともに、オリジナルに近づけるようにしてください。また、シュルツフォントは、シュルツ氏の手書き文字になりますので、吹き出しやコミックの中でシュルツ氏が使ったような使い方で使用するようにしてください。

### 2 使用制限があります。

テキストフォントの使用用途は、Schulz classic Font と同様に下記制限の範囲内で使用してください。

- ・ 象徴的なキャプション
- ・ 登場人物の台詞  
※台詞を抜き出して使用する場合はクォーテーションマーク（" "）でくくってください
- ・ シュルツ氏の引用文
- ・ カレンダーや手帳の日玉

※詳しくは [Schulz Classic Font 使用ガイドライン](#)をご確認ください。

### 3 Schulz Classic Font と混在させないでください。

### 4 「SCHULZ HEAVY」は、強調したいときだけにご使用ください。

太文字は、キャラクターが叫んでいたり、声の抑揚を表現するときなど、単語を強調するときのみに使用してください。時により、シュルツ氏はエクスクラメーションマーク（!）を2つ使用することもありました。

“CURSE YOU RED BARON!!”

### 5 省略点は、スペースにあわせてご使用ください。

シュルツ氏はコミックの中で、二点リーダー（..）と三点リーダー（...）の両方を使っており、その使われ方は一定ではなく、吹き出しのスペースによって変えていました。空いているスペースにあわせて使い分けてください。

“YOU BLOCKHEAD..”      “MY SWEET BABBOO...”

### 6 主語の「I」以外、小文字入力が原則です。

シュルツフォントは、すべて大文字表現ですが、入力には原則「小文字入力」としてしてください。上下に留め（Serif: セリフ）のある「I」（大文字入力）は、「私」を示す単語の「I」の場合のみに、ご使用ください。省略形の動詞が続く場合は「i」（セリフ無し）になりますのでご注意ください。

“I’M JUST GLAD I HAVE MY HEALTH!”      “I’LL HAVE THAT DOGBONE..”

# SCHULZ フォント使用ガイドライン

## 7 主語の「I」（大文字）に変換するには ...

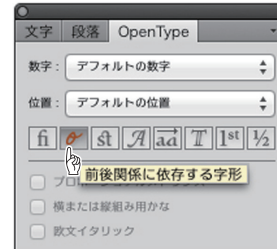
セリフのある大文字「I」は、OpenType フォントをサポートするソフトウェア上で、**I の後にスペースがくる場合に使用できます。**

### Illustrator の場合

大文字入力をした「I」と半角のスペースを選択した状態にし、メニューバー「ウィンドウ」→「書式」→「文字」→「OpenType」で表示される文字パレットの左から2番目のアイコン【前後関係に依存する字形】をアクティブに設定するとセリフのついた「I」に変換できます。

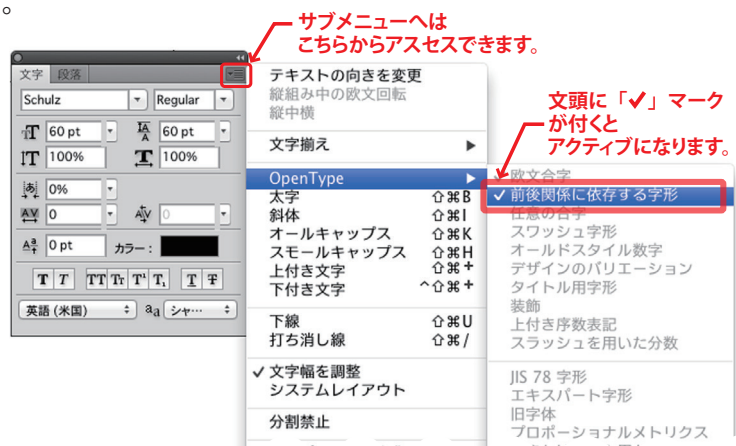
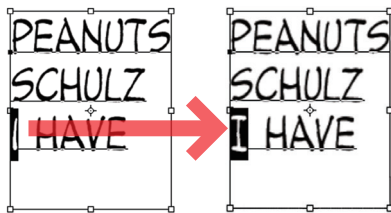
※過去にこの設定が保存されている場合、大文字入力時にセリフのある「I」が表示される場合もあります。

I HAVE → I HAVE



### Photoshop の場合

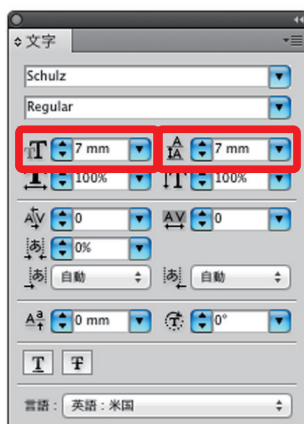
「I」と半角のスペースを大文字入力し、「I」を選択した状態で、メニューバー「ウィンドウ」で文字パレットを表示し、「サブメニュー」→「OpenType」→【前後関係に依存する字形】を選ぶとセリフ付きの「I」に変換できます。



## 8 行間はフォントサイズと同じです。

シュルツ氏がコミックに使用するテキストの行間は、かなり狭い状態にありましたので、テキストを改行するときの行間も同様のアキになるようにしてください。

シュルツフォントを使って、Illustrator や Photoshop など複数行のテキストを作成する時は、行送りの設定を「自動」ではなく、フォントサイズと同じサイズで使うことで、正しいスペースになります。



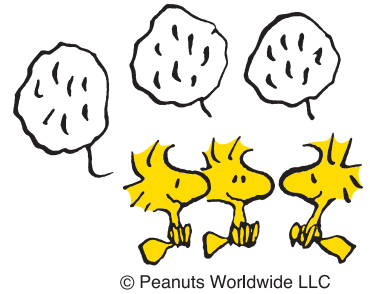
"EVERY HALLOWEEN NIGHT  
THE GREAT PUMPKIN RISES  
OUT OF THE PUMPKIN PATCH"



"EVERY HALLOWEEN NIGHT  
THE GREAT PUMPKIN RISES  
OUT OF THE PUMPKIN PATCH"

# WOODSTOCK TALK フォント使用ガイドライン

ウッドストックトークフォントは、ウッドストックの台詞としてシュルツ氏が書く、引っかき傷のような文字が、キーボード入力のできるフォントです。



## Woodstock Talk

### Regular

対象ライセンス：クラシック・ヴィンテージ



### ● WOODSTOCK TALK フォント使用上の注意 ●

- 1 ウッドストックたちの台詞のみにご使用ください。
- 2 ウッドストックたちらしい、動きのある文字配列にしてください。  
半角英数でキーボードの配列順（Q→W→E→R→T→Y→の順番）に続けて大文字や小文字などを入力することで、よりうねったように並ぶ文字配列になります。



QWERTYUIOPASDFGHJKL  
w1234567890=qwerty  
upzxcvbnm<>?MNBVCXZ



テキスト入力した普通の文章をそのまま変換しないで下さい。



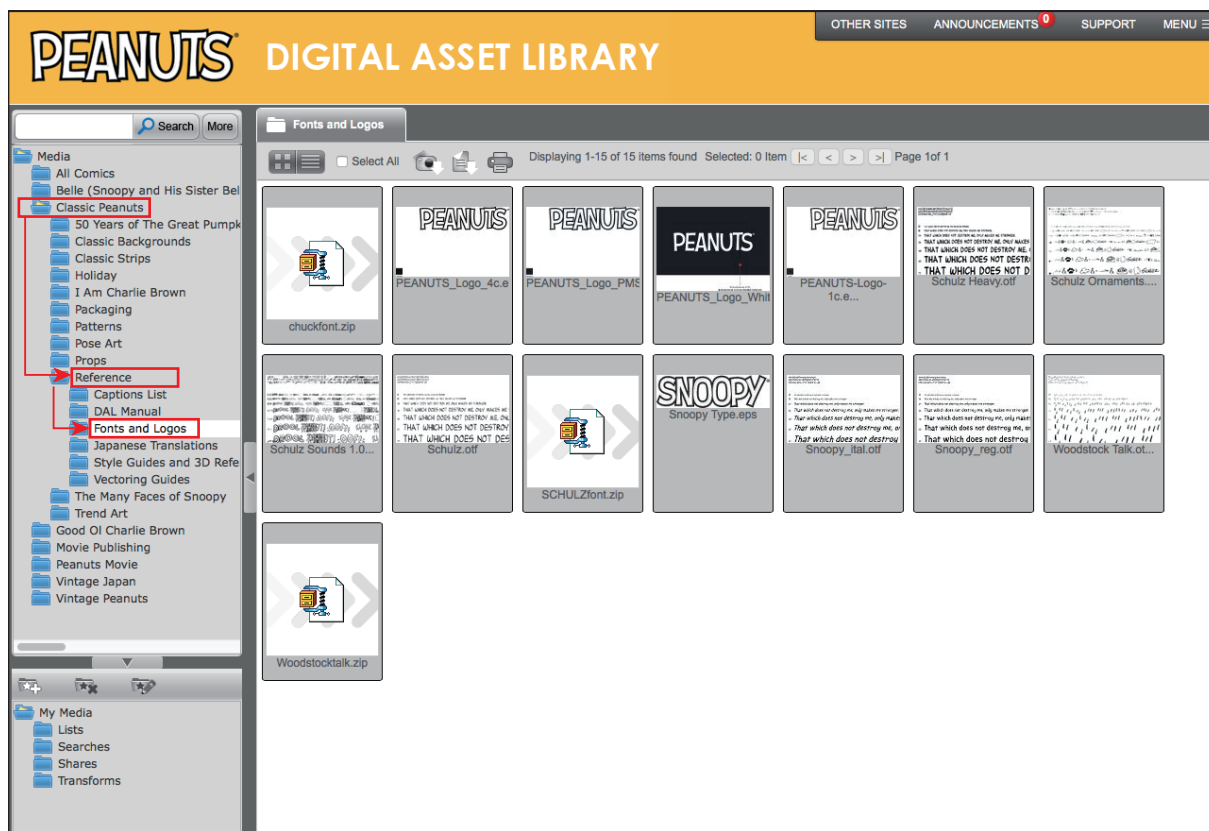
I went to Worm School today.



## ● フォントデータの入手方法 ●

シュルツフォント、ウッドストックトークフォントのデータは、DAL の下記ロケーション、「Fonts」フォルダからダウンロードしてください。

### Classic



### Vintage

